

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
61	東京純心大学	発達看護学Ⅲ(老年)	山本 君子	1	後期	火	8	13:00～14:30	東京純心大学	5

【到達目標】

1. ライフサイクルからみた老年期にある対象の身体的・精神的・社会的特徴を説明できる。
2. 老年保健の動向や課題を述べることができる。
3. 老年看護理論、看護の原則・目標を説明できる。
4. 老年期にある対象の健康管理や健康障害とその看護について説明できる。
5. 老年看護を実践するために必要な支援体制と保健医療福祉制度との関連について説明できる。

【授業の概要】

本科目は、ライフサイクルからみた老年期にある対象の身体的・精神的・社会的特徴を学び、高齢者疑似体験を実践する。また、老年保健の動向や課題などを学び、疾病予防の取り組みや老年期の健康障害とその看護について学修する。さらに、老年看護理論、看護の原則や目標を学修すると共に、老年看護を展開するために必要なサポート体制、保健医療福祉、介護保険制度などの関連について学ぶ。2年次前期の老年看護学Ⅰの科目の基本となる学修である。

【授業内容】

1. 老いを学ぶ入口(1)未知なる老い(2)老いのイメージ
2. 老年期にある対象の生理的特徴-①(1)身体的側面の変化(2)精神的側面の変化(3)社会的側面の変化
3. 老年期にある対象の生理的特徴-②(1)高齢者疑似体験で得た学び【グループ演習】(2)グループ演習まとめ【発表】
4. 老年期の発達課題(1)発達理論と発達課題(2)老年期の発達課題(3)死生観(4)スピリチュアリティ
5. 人口学的指標からの老年期の理解および医療のしくみ(1)高齢化と高齢者世帯(2)高齢者の健康状態、平均寿命、健康寿命、死亡の動向(3)高齢者と家族機能(4)介護家族の課題(5)高齢者の医療のしくみ
6. 高齢者の尊厳と権利擁護-①(1)高齢者に対するスティグマ、エイジズム(2)アドボカシー、アドボゲイト(3)ノーマライゼーション(4)自立支援
7. 高齢者の尊厳と権利擁護-②(1)身体拘束(2)高齢者虐待(3)権利擁護のための制度
8. 老年看護理論および看護の原則・目標(1)エンパワメント、ストレングスモデル、ライフレビュー、コンフォート理論など(2)高齢者のための国連原則

【成績評価方法】

夏休みの課題「高齢者疑似体験」と発表会での学びを含めたレポート20点(③)、1回～8回までの授業を振り返り、「近年の高齢者を取り巻く問題・課題と看護職を目指す自分の考え」についてレポート10点(⑧)、定期試験70点、で総合評価する。

レポートの評価基準は、「到達目標1～5」に示している「視点ならびに根拠の明確化の程度」で作成した評価表を用いて評価する。

【教科書】

- 1.北川公子ほか:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 9版、医学書院
- 2.佐々木英忠ほか:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 5版、医学書院

【参考書、教材等】

- 1.百瀬 由美子、奥野 茂代他:老年看護学—概論と看護の実践 第6版、ヌーベルヒロカワ

※ この授業は、10/27(火)が初回です。